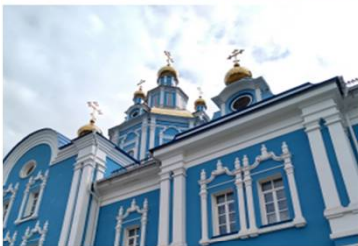


こんげつ ひとこと
~~~~今月の一言~~~~

ひっしやめい なるさわ  
筆者名 成澤



7月の終わりにから 8月にかけてお休みを頂き、ロシアへ行ってきました。皆さんはロシアと聞いて何を想像しますか？ 世界一面積の広い国、シベリア鉄道、バレエやクラシック音楽といった芸術、ピロシキやボルシチなどの料理。世界で初めて宇宙に行った男性のガガーリン、女性のテレシコウもロシア人です。昔はソ連と呼ばれていたもので、そちらの男がピンとくる方も多いかもかもしれません。



出発当日の朝、成田空港へ行ってみると、なんと飛行機が欠航！夕芳祭の便に替えてもらって到着しましたが、今度は予約していたバスが来ません。その後のバスも満席のようなので、仕方なくタクシーで移動しました。家を出てから最初のホテルに着くまで 40 時間。旅の幕開けは散々でした。



当初はTシャツでも暑いくらいでしたが、数日後には気温が 20度を下回るようになり、ついには 10度を切る程になりました。気ままな一人旅なので、行先を南の方へ変更し寒さを逃れました。



私はベネカリーで働いているので、食べ物にももちろん興味があります。皆さん大好きなイクラはロシアではよくパンに載せて食べますが、イクラはロシア語の単語です。ロシアで一般的なパンは、寒い地域でもよく管つライ麦を使った黒パンです。少し酸っぱいですがよく噛むと穀物の香りが感じられて、とてもおいしいです。ロシア料理といえばボルシチを想像する方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ ビーツという真っ赤な野菜を使ったボルシチはどこのレストランでも食べられるほど一般的なスープですが、実は隣のウクライナの料理なんです。ソ連時代の名残から、ジョージア(グルジア) やアルメニア、ウズベキスタンなどの料理もよく食べられています。最近では日本食がブームで、今回訪れた全ての街に日本食レストランがあり、とてもカラフルな「エジ」を提供していました。



ロシアは 100以上の民族が暮らす多民族国家です。昔は抑圧されていた民族も、現在では民族の誇りを取り戻し、再興しようという動きも見られます。今回の旅行でも色々な民族の文化や風習を肌で感じてきました。改めて、自分と異なる価値観やバックグラウンドを持つ人々を尊重することの大切さを認識した旅行でした。



追伸：先日、リハビリ協会の方から、ロシアへ持参するお土産としてバゲットラスクの注文を頂きました。もしかしたら近い将来、ロシアから注文が来るかもしれませんね。